

## 第7章の補遺1 世の中の関数

関数とは、ある集合の要素の各々に唯一つのものを定める対応のことです。関数は数に数を対応させるものとは限りません。世の中にいろいろな関数があります。

一つのクラスの学生の一人一人に名列番号が割り当てられます。クラスの各学生に対してその学生の名列番号は唯一つに定まりますから、各学生に名列番号を定める対応は関数です。

高等専門学校 of 学生は誰も唯一つの学科に所属します。ですから、高等専門学校の各学生に対して所属する学科を定める対応は関数です。

通常の自動販売機では、お金を投入してボタンを押すと押したボタンによって決まった種類の商品が出てきます。このような自動販売機では、ボタンに対してそのボタンを押したとき出てくる商品の種類を定める対応は関数です。

重量計である範囲の物体の重量を量ることができます。あるデジタル重量計で重量を量れる物体の各々に対して量ったときの重量が唯一つに定まります<sup>1)</sup>。ですから計量時の物体に対してデジタル重量計で量った重量を定める対応は関数です。

日本の各県に対してその県の県庁所在都市が唯一つに定まります。従って、各県に対してその県の県庁所在都市を定める対応は関数です。

---

<sup>1)</sup> アナログ重量計だと人によって読み取る重量が異なるかもしれないのでデジタル重量計にしました。